



# 成隣だより

平成28年6月30日  
第4号  
昭島市立成隣小学校  
校長 加賀田 真理



## 夢や理想に挑戦する心

校長 加賀田 真理



6年生は日光方面で5月31日から6月2日までの3日間、5年生は清里方面で6月23・24日の2日間、移動教室を実施しました。初めての移動教室で緊張しながらも初々しい気持ちで臨んだ5年生。昨年度の経験を生かして、より充実した活動を目指した6年生。どちらの学年も、高学年らしく理想の活動の姿をイメージしながら、一人一人が自分たちの課題としっかりと向き合い、学校ではできない貴重な体験をして帰ってくることができました。これからの学校生活の中で、この経験を生かし、さらに発展させて活躍できるよう継続して指導をしてまいります。

また、間もなく1学期の終了を迎えます。すべての学年で、学習のまとめに一生懸命に取り組んでいます。学校生活の節目として、4月当初から取り組んできたことの目標が達成できたか、残っている課題はないかなど、見直しをする良い機会となるように学習活動を進めています。

「目標」や「理想の活動の姿をイメージして生活すること」は、生活にめりはりをつけたり、張り合いをもたらしたり、有意義な時間を過ごすことに有効だと考えています。

### 「理想の自分にむかって努力する姿を自由という。」

という言葉聞いたことがあります。寝たい時には寝て、食べたい時には食べて、やりたいことは何でもやってというのは、一見「自由」に見えますが、実は人間にもとから備わっている「欲」に支配されている姿であり、本当の自由というのは、なりたい理想の自分自身を思い描き、理想の自分になろうと「自分の意志で自らを律する」ことを「自由」と呼ぶという考え方です。本当に自由になるためには、理想の姿をもつことや、それを目指す強い意志と日々のたゆまぬ努力が必要となることなのでしょう。

先日、メジャーリーガーのイチロー選手が日米通算4257安打を放ち、記者会見で語った「僕には子供の頃から人に笑われてきたことを常に達成してきているという自負がある。」という言葉が印象に残りました。人に笑われても夢や目標に向かって努力をし続けてきたイチロー選手にしか言えない、心の強さを感じさせる言葉でした。

春の保護者会で「人工知能の発達」に関わるお話を保護者の皆様にさせていただきました。最適解を求めることや膨大な演算処理を行うことは、人間は人工知能にかなわない時代が来る・来ているかもしれません。しかし、なりたい自分自身の姿を思い描き、実現可能かどうか未知であるにも関わらず、自分の価値観に従って努力し続ける行為こそが、人間を人間たらしめているのではないかと考えています。たとえ実現できずに、夢が破れたとしても、過程の努力にも尊い価値があることを人間は知っています。そのことを互いに認め合う心や文化をもっています。

「野球」というスポーツも、元々は球投げ、球打ちの遊びだったかもしれません。しかし、大勢の人々が努力をして技能を高め、道をつくり、スポーツ文化としてその価値を高めてきました。

一見価値があるかどうか分からないと思われることに価値を見出し、その価値を高めていくという価値観の創出は、効率や最適を求める人工知能にはできないことなのではないでしょうか。

子供たちが夢や理想の自分の姿を思い描き、一歩ずつ努力していこうとする意欲を育てていくことができるような教育活動やまとめに取り組んでまいります。ご家庭でも、子供たちがたとえ失敗したとしても、努力している姿があればそれを認め、励ましていただければ幸いです。